



# 対馬市の財政状況を考える

「市長と語る」

各分野の市民の皆さんが、対馬市の抱える問題や将来に向けたまちづくりについて市長と対談する今年度第1回目の「市長と語る」が、12月26日に実施されました。今回は、「対馬市の財政状況について」をテーマに意見交換が行われました。内容（抜粋）は次のとおりです。

は機能しないので、職員一人ひとりの能力を向上させないといけない。

広報紙で情報を収集することとは若者でも出来るが、なかなか読もうとしないので、このあたりの意識改革も必要だと思う。

【司会】財政がこの様な状況になった背景について、市長はどのようにお考えですか？

【市長】国の施策そのものが画竜点睛を欠く（最後の仕上げに不十分などところがある意味）というところがある。自由競争の原理を導入するのは非常にいいことだが、それは結局参入も自由、撤退も自由ということ。競争原理が働くところは便利になるが、それが伴わない離島、過疎地などはどんどん不便になる。

経済の原理原則だけで社会が動いていくのであれば政治はいらぬ。陰の部分、暗い部分に光を当てるのが政治であるならば、今まさに政治の根幹が問われていると思う。

【宮本】財政危機の中でも、市民が夢を持てるようなやり方があり、市長や職員が知恵を出せば十分対応できると思う。

自治体は財政事情を住民に



「行政担当者は説明責任を」と語る山代氏

公表することが義務づけられているが、広報紙には専門的な文面が多く、一般の人が見ても理解出来ない。専門用語を使わずみんなが理解できるような広報をしてもらいたい。また、高い航空運賃では対馬の観光は成り立たないので、航空運賃を下げる努力をしてほしい。

【市長】今の対馬の状況は、トンネルの中にいるようなもの。これをやればすぐに良くなるといった特効薬がないだけに、漢方薬でも処方して意識改革を行わないといけない。役所でも税金の徴収等の職員は午後1時に出勤し、午後10

【司会】現在の対馬市の財政状況をどのように感じていますか？

【宮本】島民の皆さん、理事者、議会も含めて危機感が無いのではないかと。市長をはじめ行政に携わる人が危機感を持って市民に訴え、自ら律する気持ちを持っていただきたい。

【山代】市政説明会に参加した時、市長以下行政担当者は



「財政に対し危機感がないのでは」と語る宮本氏

説明責任をしっかりと果たさなければ暗いムードになると感じた。人件費のスリム化等の取り組み内容について広報紙等で説明してあるが、市民は広報紙を隅から隅まで読まない。取り組みの内容や成果を具体的に数字をあげて説明すると市民も納得するのでは。

【阿比留】対馬は吉岐と違って南北に長く、デメリットの部分が多いのではないかと。人がいなければそれぞれの支所

## 出席者プロフィール<sup>(敬称略・順不同)</sup>

- 宮本 豊月 (77歳、上県町瀬田) 元上県町議会議員 (連続7期28年間)
- 山代 博康 (67歳、巖原町久田) 元久田小学校校長 (教師歴40年)
- 阿比留 志郎 (33歳、豊玉町仁位) 社会福祉法人梅仁会理事長
- 松村 良幸 (64歳、対馬市長)

時まで仕事をすると変更勤務時間や時間外手当での7割カットなどに取り組んでいる。また、特に子どもたちに夢や希望を灯すようにしないとけない。まさかりドリームスに参加した少年の目は輝いている。子どもに夢や口マンを見させるステージがまさかりドリームスででき上がったと捉えてもらいたい。

【司会】お金の使われ方で何か質問は？

【山代】職員の変更勤務時間は非常にインパクトがあり、市民も職員に対して一生懸命やっているなど実感を持つのではないが。

【司会】対馬市民一人当たりの市債残高が、平成17年度末で約163万円となつてますが、これについて心配は？

【阿比留】広報紙を読んだが、理解するのは難しく、それに、に勉強しないとけないと感じた。

財政健全化へ向けた取り組みについて、行政改革大綱等

があるが、分厚く時間がかりとでも読み切れない。情報をもっとわかりやすく知らせる体制を講じてほしい。

【宮本】広報紙に対馬市の経常収支比率が98・2%と書いてあったのを見て驚いた。そういう状況の中でなぜ有線テレビなのか。それ以外でも借金をしなければいけない中、これ以上借金を増やしてやるのか。

【山代】夢や希望が持てる対馬をつくるためには、今あるものを使って雇用対策につなげることを考える必要がある。例えば、イノシシを有害鳥獣で終わらせるのではなく、プラスに活用する方法など。長



「政策を分かりやすく知らせる体制を」と語る阿比留氏

崎の式見では、ポタン鍋を食べさせるところがある。

また、対馬市交流センターができ、百数十人の雇用が生まれたというのは非常にいいこと。競争原理をうまく持ち込んで成功した事例だと思う。企業誘致は対馬の美しい自然を破壊しない産業の誘致が条件。

【阿比留】私どもの事業所にもよくハローワークの方が来て雇用促進事業の取り組みを依頼されるが、今後は対馬市も加わり全体で話し合つて総合的な計画が立てられるようお願いしたい。

【市長】財政が厳しいからこそ、将来に対する投資をしなければならぬ。今政府が、SDG's計画といって、世界に冠たる情報国家を作ろうと進めている。これからは情報の共有がないといけない。

テレビの再送信や市の広報だけだったら無意味なこと。整備しているのは福祉医療、教育、産業などあらゆる面で利用できるシステム。有線テレビには一般財源で約15億円

(注) IP電話、インターネットを利用した電話サービスのこと。

必要だが、設備ができたならIP電話(注)ができるようになるため、島内の年間の固定電話の通話料金約1億5千万が無料になる。10年たつと15億円となり結局手出しはなくなる。また、他のことが手一杯にならないようにやっている。

【宮本】利便性を考えると有線テレビは正しいと思うが、対馬の人口推移を考えた場合、我々年寄りだけになったときにインターネット等、使いきれない人も実際のところ多い。また、月7万位の年金受給者が使用料を毎月払えるのかという問題がこれから出てくるのではないが。

【市長】使用料はきちんと計算した上で一世帯当たり千円を考えている。運営は民間にやってもらつので、あと負の部分が出てこない。時代が大きく変わってきている中、考え方を変えない限り対馬の明日はない。そのためにも情報の共有が必要。

【宮本】私は日本が嫌うものを持ってこない対馬の経済



はよくなならないと思う。原子力発電所の使用済み核燃料施設ができる多くの補助金がある。そのくらい思い切つた施策を考えないと対馬の財政はよくなならないと思う。

【市長】人口が3年間で2000人減つた。島内の各集落に空き家がたくさん出ているのが現状。今700万人の退職を控えた団塊の世代が全国におり、彼らに対するビジネスが拡大している。上対馬の舟志の学校跡地に農業法人ができる予定だが、そこに団塊の世代の人達を引き入れようとして東京でインターネットによ



り公募したら1700人ぐらの応募があった。今後は特にインターネットなどの情報基盤が重要になり、整備されていないと人も来ない。対馬では雇用対策が一番の課題。企業誘致がしやすいよう基盤整備を進める必要がある。

【山代】有線テレビについては、平成23年の地上デジタル放送の開始によって各地域が持っている受信システムにお金をかけないといけないが、とても地域ではできないような金額になる。だから国の補助金が出るうちにやっておくのがいいと思う。

【市長】縦貫道路もなかった

昔は樽ヶ浜から船で渡っていた。対馬の税収は30億円もない。このぐらいの税収では整備できるはずがない。昔の議員や町長はよくやっていると聞いていた。それだけ国の金を多く引き出し、道路、漁港、港湾、圃場整備、学校などが整備されてきた。今はその結果で苦しんでいるが、月賦社会を先取りしたのが対馬ではないかと思う。今はある程度基盤整備ができたので、今後は取捨選択しながらやっていかなければならない。

【阿比留】厳しい状況の中で、夢のある事業をするには明確なビジョンを持たないといけないと思う。

福祉のことで言えるのは、今までは各法人がそれぞれに事業の計画を立て構想を練ってきたが、今はある程度施設なりでできているので、今後は対馬全体で考えていかなければいけないと思う。

また、子育てについては、若者は子供を産んで働くことも働けない事情がある。核家族化が進むことで自分たちで

子供をみなければならず、仕事に影響が出るから働けないというふうな。解決するには事業所、市、家庭のすべての協力があつて対馬流の子育て支援ができると思う。

【司会】最後に一言づつどうぞ

【宮本】韓国との人的な交流が頻繁に行われているが非常にいいこと。今後はそれから一歩進んで、産業面に何とか活用ができるような交流が必要だと思う。

【山代】市役所は3万8千人程の島民に対し、行政サービスが低下しない程度であるべき姿になるような削減は考え



てもらいたい。また、議会の皆様にも少し痛みを分かち合ってもらいたい。定数は20人ぐらいで適当だと思う。また、母親たちの意見として、幼稚園機能と保育所機能を合体させたものをつくってほしい。最後に、健康な市民づくりに力を入れ、ウォーキングや軽スポーツを奨励し、健康な市民が保険税をたくさん使わなくていいような施策をやったらどうか。

【阿比留】幼稚園と保育園一体型の施設ができた場合、ある一定の地域の方がそれを利用できないというのはすごくマイナス。ある程度距離があるのは仕方ないと思うが、この地区の方もそれを利用してきょうな体制づくりに取り組んでいってほしい。また、若者がもっと行政に興味を持ち、行政の事情や内情が分かるような体制づくりを進めてもらいたい。

【市長】放射性廃棄物の問題は、基幹産業である漁業、農業など第一次産業への風評被害があるのと、もう少し皆さ



んが論議をするべきじゃないかと思う。

幼稚園は昼までなので、子育て支援になかなかならない。保育所と一緒にするということも今後の課題だろうし、福祉に携わる人が対馬の福祉がどうあるべきか、市といつしよに考えて行くべきだ。

また、今やつと対馬の国境政策が国でも論じられるようになった。対馬は太古の昔から外からの侵略を受け続けてきた歴史がある。今、国境に対する考え方が国の方でも大きく変わってきたので、これから国も動きだすと思う。

11月18日午前1時頃、厳原港入口付近で発生した漁船と貨物船の衝突事故で、火災が発生した漁船から男性を救助した漁船「直丸」の船長（49歳・厳原町久田）と、「大政丸」の船長（59歳・福岡市東区）の2名に、第7管区海上保安本部長表彰が贈られました。

小松船長は漁を終えて港に帰る途中、仲間の船が貨物船と衝突し、スクリューにロープが絡まり航行できなくなったため、直ちにロープの除去作業を開始し、付近で漁を行っていた大久保船長に協力を要請。駆けつけた大久保船長と協力し、炎上する漁船から頭部等を負傷した男性を救助しました。

調理等に使用するため漁船にはプロパンガスのボンベが積んであり、引火した場合爆発する危険性がある中、2人の勇気ある行動により尊い命が救われました。「怖いなんて言っていられない。命が助かってなにより」と2人は口をそろえて話していました。

## 火災漁船から男性を救助



表彰状を贈られた小松幸則船長（左）と大久保政治船長

## オープン3周年を迎えました

### 上対馬温泉「渚の湯」



上対馬温泉「渚の湯」は、「日本の渚百選」の三宇田浜海水浴場に隣接し、美肌効果に良いとされる弱アルカリ性の泉質です。当施設では、水平線を望むゆったりとした大浴場、サウナ、バイブラー（泡風呂）、ジェットバス、うたせ湯、露天風呂を男湯・女湯ともに完備しています。

上対馬温泉「渚の湯」

上対馬町西泊1217番地 8 0920(86)4568

営業時間 午後1時から午後9時まで

休館日 毎週水曜日

露天風呂は1月4日から3月31日まで休止させていただきます。

### 新人権擁護委員に

渡辺久美子さんが就任

（厳原町久田）



1月1日付けで対馬市の新しい人権擁護委員として渡辺久美子さん（56歳）が就任しました。

渡辺さんは元養護教諭で、昭和46年に厳原町立金田小学校を初任校に、平成10年の退職まで同町厳原中学校、上県町の久原、佐須奈小中学校、上対馬町の比田勝中学校に勤務し、その後は、新任養護教諭の研修担当、県非常勤講師、学校相談員などを経て、現在

では市内の不登校の小中高生に居場所を提供しているフリースペース「みちしるべ」の指導員や「地域で子育てを楽しむ会」等で活躍しています。

菅野慶全さん（峰町志多賀）が再任

5期にわたり人権擁護委員を務めた菅野慶全さんが再任されました。

両氏とも任期は平成19年1月1日から平成21年12月31日までの3年間です。

人権擁護委員は、国民の基本的人権の監視、救済などの処置、人権思想の普及高揚などを使命とし法務大臣より委嘱されます。

現在、市内では12名の人権擁護委員さんが活躍しています。

### 新 民生委員・児童委員の津屋秀則さんです。



【担当：豊玉町仁位（下地区）】  
58-0428

前委員の退任により、平成18年12月25日から新たに就任されました。

日常生活での悩み等ございましたら、お気軽にご相談ください。なお、任期は平成19年11月30日まで。